

市政記者各位

## <第3回福岡アートアワード>アーティスト募集開始します！

福岡市内で目覚ましい活動をおこない、今後も飛躍が期待できるアーティスト（美術作家）を対象に、作品の買い上げをもって贈賞する「福岡アートアワード」。作品を買い上げることでアーティストを支援し、買い上げた作品は、福岡市美術館の所蔵品として展示活用します。これにより、福岡市にアーティストが集まり、質の高い作品の展示や市民がアートに親しむ機会が増え、福岡市が彩りにあふれたアートのまちとなることを目指します。

この度、<第3回福岡アートアワード>の候補者の募集を開始いたします。  
広報周知にご協力たまわりますようお願い申し上げます。

### 賞の種類

- ◆市長賞 1名                      ◆優秀賞 若干名

### 募集内容

#### ■対象アーティスト

- (1)過去1年間（令和5年10月から令和6年9月）の間に、福岡市内で、展覧会、アートフェアなどへの出品、レジデンス、アート・プロジェクトの実施など、1つ以上の活動をおこなったもの。（公開・発表をとまなわない制作活動は含みません。）
- (2)過去5年以内に制作した、福岡市美術館が買い上げ可能な作品を有するもの  
※自薦・他薦は問いません。他薦の場合、推薦者に条件はありませんが、必ずアーティスト本人に承諾を得た上でご応募ください。

#### ■募集期間

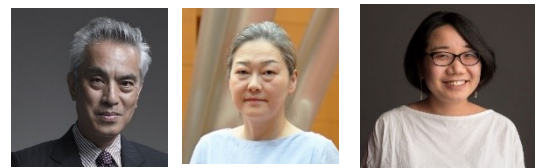
令和6年8月1日(木)から9月30日(月)まで

#### ■応募要項・申請書類

7月16日より福岡アートアワード特設サイト (<https://fukuoka-art-next.jp/faa>) からダウンロードできます。詳細も本サイトに掲載いたします。

### 選考委員

水沢 勉（元 神奈川県立近代美術館 館長）  
植松 由佳（国立国際美術館 学芸課長）  
堀川 理沙（ナショナル・ギャラリー・シンガポール、キュレートリアル & コレクションズ ディレクター）



（左から）水沢氏、植松氏、堀川氏

\* 各委員の略歴は裏面

### 発表

受賞者、買上作品は、令和7年2月下旬に発表予定です。

#### 【お問い合わせ先】

経済観光文化局美術館学芸課 担当：後藤、ラワンチャイクン

TEL：714-6054 FAX：714-6145 e-mail：rawan@fukuoka-art-museum.jp

## <第3回福岡アートアワード> 選考委員

みずさわ つとむ

### ■水沢 勉 (元 神奈川県立近代美術館 館長)

1952年横浜市生まれ。1978年慶應義塾大学大学院修士課程修了。2011-2024年神奈川県立近代美術館。主な企画展に、「萬鉄五郎展」(1985)、「エゴン・シーレとウィーンの世紀末」(1986)、「オットー・ディックス」(1987)、「芸術の危機」(1995)、「アントニー・ゴームリー」(1996)、「世界図鑑」(2007)、「エル・アナツイ」(2011)など。第26回サンパウロ・ビエンナーレ(2004)日本コミッショナー(「Vozes de Sibéria: Shin Miyazaki」)、第3回横浜トリエンナーレ「タイムクレヴァス」(2008)アーティスティック・ディレクター。

うえまつ ゆか

### ■植松 由佳 (国立国際美術館 学芸課長)

丸亀市猪熊弦一郎現代美術館、財団法人ミモカ美術振興財団勤務を経て、2008年より国立国際美術館に勤務、2021年より現職。現代美術を中心に国内外で展覧会を企画。近年の主なものに「They Do Not Understand Each Other」(2021、共同企画、香港Tai Kwun Contemporary)、「ヤン・ヴォー・オヴ・ンヤ」(2020)、「国立国際美術館開館40周年記念:トラベラーまだ見ぬ地を踏むために」(2018、共同企画)(いずれも国立国際美術館)など。第54回ヴェネツィア・ビエンナーレ日本館コミッショナー(2011、作家:束芋)、第13回バンガラデシュ・ビエンナーレ日本参加コミッショナー(2008)を務めた。文化庁アートプラットフォーム事業・日本現代アート委員会副座長。

ほりかわ りさ

### ■堀川 理沙 (ナショナル・ギャラリー・シンガポール、

キュレトリアル&コレクションズ ディレクター)

1978年米国ミシガン州生まれ。九州大学大学院修士課程修了。専門はアジア近現代美術史。2002~2003年まで中国ロング・マーチ・プロジェクトに関わる。2003-2012年福岡アジア美術館、2012年よりナショナル・ギャラリー・シンガポールに勤務し、2021年より現職。主な企画展に同館での「Between Declarations and Dreams: Art of Southeast Asia since the 19th Century」(2015)、「Reframing Modernism: Painting from Southeast Asia, Europe and Beyond」(2016)、「(Re)Collect: The Making of Our Art Collection」(2018)など。

第3回

福岡

アート

アワード

# The 3rd Fukuoka Art Award

アーティスト募集

募集期間

2024年8月1日(木)

— 9月30日(月)



  
**FAA**

**FaN**  
Fukuoka Art Next

 福岡市美術館  
FUKUOKA ART MUSEUM

福岡アートアワードは、福岡市美術館が、Fukuoka Art Nextの一環として実施する事業です。福岡市内で目覚ましい活動をおこない、今後さらなる飛躍が期待できるアーティスト(美術作家)を対象に、作品の買い上げをもって贈賞します。贈賞によりアーティストを支援し、買い上げ作品は福岡市美術館の所蔵品として展示活用されます。これにより、福岡市にアーティストが集まり、質の高い作品の展示や市民がアートに親しむ機会が増え、福岡市が彩りにあふれたアートのまちとなることを目指します。

## 1 賞について

自薦・他薦にて対象アーティストを募集します。応募者の中から、選考委員が下記の賞の受賞者と買い上げ作品を選考します

◆市長賞 1名 ◆優秀賞 若干名 [買い上げ総額 700万円]

## 2 賞の対象

以下の(1)(2)いずれにも該当するアーティスト(美術作家)が対象となります。

- (1) 過去1年間(2023年10月から2024年9月)の間に、福岡市内で、展覧会、アートフェアなどへの出品、レジデンス、アート・プロジェクトの実施など、1つ以上の活動をおこなったもの。(公開・発表をとまなわない制作活動は含みません。)
- (2) 過去5年以内に制作した、福岡市美術館が買い上げ可能な作品を有するもの。

- ※アーティスト(美術作家)の国籍、年齢、在住地は問いません。
- ※ユニット、グループでの応募も可能です。
- ※自薦・他薦は問いません。他薦の場合、推薦者に条件はありませんが、必ずアーティスト本人に承諾を得た上でご応募ください。
- ※同一推薦者によるアーティストの推薦は3名までとします。
- ※受賞した場合、アーティスト名、経歴、受賞作品などをウェブサイトやマスコミへのプレスリリース等で公表します。これに協力できることを条件とします。
- ※選考委員会では、自薦・他薦の別、他薦の場合の推薦者名は伏せた形で、選考をおこないます。
- ※過去に福岡アートアワードを受賞した者は応募不可とします。

ただし、下記に該当する方は応募できません。

- ・福岡市暴力団排除条例(平成22年福岡市条例第30条。)第2条第2号に規定する暴力団員(以下「暴力団員」という。)、または同条第1号に規定する暴力団(以下「暴力団」という)、または暴力団員や暴力団と密接な関係を有するもの。
- ・福岡市税にかかる徴収金(市税及び延滞金等)を滞納しているもの。(納期限が到来している市税があっても、市税徴収猶予の特例が認められている場合は除く。)

## 3 選考委員

下記の3名の委員によって、選考がおこなわれます。



水沢 勉 元神奈川県立近代美術館 館長

1952年横浜市生まれ。1978年慶應義塾大学大学院修士課程修了後、神奈川県立近代美術館学芸員として勤務。2011年より現職。主な企画展に、「萬鉄五郎展」(1985)、「エゴン・シーレとウィーンの世界」(1986)、「オットー・ディックス」(1987)、「芸術の危機」(1995)、「アントニー・ゴームリー」(1996)、「世界凶器」(2007)、「エル・アナツイ」(2011)など。第26回サンパウロ・ビエンナーレ(2004)日本コミッション(「Vozes de Sibéria: Shin Miyazaki」)、第3回横浜トリエンナーレ「タイムクレヴァス」(2008)アーティストック・ディレクター。



植松 由佳 国立国際美術館 学芸課長

丸亀市猪熊弦一郎現代美術館、財団法人ミモカ美術振興財団勤務を経て、2008年より国立国際美術館に勤務。2021年より現職。現代美術を中心に国内外で展覧会を企画。近年の主なものに「They Do Not Understand Each Other」(2021、共同企画、香港Tai Kwun Contemporary)、「ヤン・ヴォーグ・ソヤ」(2020)、「国立国際美術館開館40周年記念:トラベラーまだ見ぬ地を踏むために」(2018、共同企画)(いずれも国立国際美術館)など。第54回ヴェネツィア・ビエンナーレ日本館コミッション(2011、作家:東芋)、第13回バンガラデシュ・ビエンナーレ日本参加コミッション(2008)を務めた。文化庁アートプラットフォーム事業・日本現代アート委員会副座長。



堀川 理沙 ナショナル・ギャラリー・シンガポール、キュレトリアル&コレクションズ ディレクター

1978年米国ミシガン州生まれ。九州大学大学院修士課程修了。専門はアジア近現代美術史。2002-2003年中国ロング・マーチ・プロジェクトに関わる。2003-2012年福岡アジア美術館、2012年よりナショナル・ギャラリー・シンガポールに勤務し、2021年より現職。主な企画展に、同館での「Between Declarations and Dreams: Art of Southeast Asia since the 19th Century」(2015)、「Reframing Modernism: Painting from Southeast Asia, Europe and Beyond」(2016)、「(Re)Collect: The Making of Our Art Collection」(2018)など。

## 4 募集内容

(1) 募集期間  
2024年8月1日(木)～9月30日(月)

(2) 応募方法  
表面QRコードのサイトより、下記応募様式(①-③)をダウンロードし、必要事項を記入の上、補足資料(④、⑤)とともにオンラインフォームよりご応募ください。

- ◇応募様式:
  - ①アーティスト情報(\*他薦の場合、推薦者情報も記入)
  - ②過去1年間の福岡市内での活動実績(1つ以上)
  - ③買い上げ可能作品情報(5年以内に制作した1-3点)
- ※平面・立体・写真・映像・インスタレーションなど、形式は問いませんが、美術館内で展示保管が可能な作品に限ります。
- ※サイズは、収納時の最大サイズがH300×W410×D190cm以内に限ります。
- ※作品価格について、海外輸送の場合は輸送費および設置にかかる費用も含めて記載してください。
- ※アーティスト自身が所有する作品、アーティストの取扱ギャラリーが所有する作品に限ります。
- ※買い上げ可能作品につきましては、1次選考後にあらためてお問い合わせください。作品の取り置きをお願いするものではありません。

- ◇補足資料:
  - ④過去作品のポートフォリオ(A4サイズ10頁、10MB以内)
  - ⑤「②過去1年間の福岡市内での活動実績」を証明するもの(パンフレット、チラシ等)

## 5 選考結果と発表

- (1) 1次選考結果  
2024年11月中旬に1次選考通過者のみにメールにて通知します。
- (2) 選考結果(受賞者、買い上げ作品)  
2024年2月下旬に発表します。

個人情報の取扱いについて  
応募書類に記載された氏名、住所、連絡先等の個人情報は、福岡市個人情報保護条例その他関係法令を遵守し、福岡市美術館が適正に管理します。当事業に関する資料の送付、連絡、その他本事業に必要な目的以外での利用及び第三者への提供はいたしません。